

平成30年度 第2回加西市立図書館協議会 議事録

日 時 平成31年3月19日（火） 15:00～16:40

場 所 アスティアかさい3階 会議室

出席者 委員8名：小林俊広、中安恵子、山端一男、丸岡玉代、深田英世、岡章雄、安富均、
周夕美、

教委・図書館4名：兼松教育長、菅野館長、伊藤館長補佐、埴岡

欠席者 松尾弥生、野崎淑子

1. 開会 伊藤館長補佐が開会を伝えた。（15:00）

2. あいさつ

会長あいさつ

前回の協議会から8カ月余りが経ち、その間、皆さまには図書館行事に参加いただいたり、情報収集をしていただいているかと思うので、その思いを述べていただき、よりよい図書館になるようご指導いただきたい。

教育長あいさつ

加西市立図書館は、以前の場所にあるときから利用しており、現在の図書館も教育長になる前から市民として利用していた。

当図書館は、いろいろな世代の方々が様々な用途で利用している印象がある。

市民のニーズが多様化しているので、そのニーズに即した運営をすることが、今後の検討課題ではないかと思う。

教育長になって、学校訪問をすると、今までの学校図書館とイメージが違っていることに驚く。どうしたら、子ども達を本に導くことができるのかを考え、本のレイアウトや机・椅子の配置に工夫が見て取れた。この図書館職員が、どのようにすれば、学校の子ども達が本に親しんでくれるのかをアドバイスをしていると聞いた。図書館職員の専門性を強く感じた。

市立図書館ということで学校連携事業を行っており、様々なイベントを含め、創意工夫していると思う。「読書こそが学力のもとである」という前教育長の考えから、学校の図書費用を充実させている。しかし、図書館も人手不足であり、図書館業務を円滑に進めるため、協議会委員の方々のご意見をお聞きしたい。

3. 議事

伊藤館長補佐から、これからの議事の進行を小林会長に依頼した。

(1) 平成30年度図書館利用状況について（菅野館長説明）

蔵書点検結果について（埴岡説明）

委員：個人貸出登録者数は平成31年2月末現在で、その横のカッコ書きは、平成30年3月末現在か。

事務局：はい。

委員：昨年と比べ、減っているが、同時期までには1カ月あるということか。

事務局：そうである。

委員：来館者数、登録者数、貸出資料数、AV・パソコンの利用状況、イベントの参加者数等、全てにおいて昨年と比べ数字が下がっており、大変驚いている。

事務局：昨年の同時期と比較すると、それほど差はないと思う。昨年は今年より、特別整理期間が長かったため、開館日数が少し少なかった。1日当たりに換算すると少なくなるかもしれない。

委員：昨年と比べ数字が下がっている原因は何か。

事務局：比較している数字が、今年の2月末と昨年の3月末であるため、1カ月分の差があるためである。

委員：1月分の誤差があるため、影響はないということか。

事務局：今年の2月末と昨年の2月末の貸出資料数を比較すると、今年の方が6,500冊多い。開館日数が多いことを加味しても、昨年とほぼ同数である。

委員：幼保施設の図書館利用・おはなし会の参加者数が昨年と比べ、かなり減っているがこれはどういうことか。

事務局：幼保施設から図書館に行きたい、来てほしい。の要望に基づいて実施するもので、今年は、要望があまりなかった。

委員：おはなし会への参加人数も昨年と比べ少ない。先日実施した「絵本と音楽でつづるおはなし会」も昨年より参加者が少なかった。同日に別のイベントがたくさんあり、私も他のイベントに参加していたため、こちらのイベントに参加できなかった。同日にイベントが重なるかどうかで、年ごとに参加人数が変動する。

委員：おはなし会は、いつも同じお子さんの顔ぶれである。どうすれば、子どもに定着するのか、来てもらえるのが課題である。

委員：図書館PRキャラバンは昨年と比べ、参加数が5分の1に減っている。なぜか。希望がなかったのか。

事務局：こども園ができ上がった時期で何かと忙しく、図書館まで声をかけることができなかったのか、または、図書館のPR不足かもしれない。

委員：園への案内チラシの配布や、声かけ、そして園の行事とのタイミングであると思う。年度当初にこども未来課からも園に声かけしたいと思う。

委員：幼保だけでなく、小学校にも図書館から来てほしい。

事務局：小学校にもブックトークやおはなし会、また、図書館見学等、図書館が訪問したり、図書館に来館してもらったりしている。

委員：小学校への本の貸出しもお願いしたい。

事務局：小学校からテーマ、内容等を指定して依頼いただければ、本の託送を行っている。

委員：小学校低学年には絵本がまだ魅力的である。絵本の読み聞かせや貸出しをお願いしたい。

事務局：小学校から、そういった内容等を指定して依頼いただければ、こちらは本の貸出しもするし、訪問もします。

委員：統計的な数字は、昨年と同時期の数値を掲載いただければ、今年と比較しやすい。

委員：他のイベントとの重複について、図書館まつりの日などは、地域のいろんなイベントと

日程が重なり、参加するのに苦労した。調整ができればと思う。

事務局：季節のよいときでもあり、交流センターの施設の空き状況にもよるので、他のイベントと日程が重なったとしても、変更は難しい。

委員：小学生の読書感想文のコンクールを図書館主催でしてもらえないか。

事務局：小学校の夏休みの課題で読書感想文があるが、それとは別ということか。

委員：時期はいつでもよいのだが、兵庫県立図書館主催で読書感想文のコンクールが開催されている。それにならって、市立図書館でも「図書館の本を読んで、感想文を書きませんか。」等、もっと市立図書館を利用してもらえる取組みをしてはどうか。

(2) 図書消毒機の設置について（伊藤館長補佐説明）

委員：利用はありますか。

事務局：8月下旬に設置してから、現在まで約880回利用されている。一日あたり、3、4回の利用がある。

委員：購入してほしいとの要望があったのか。

事務局：要望を聞いたのではないが、ふるさと納税を利用して購入している。

委員：初めて使う方には抵抗はないのか。

事務局：消毒機の扉を開け、本を中に立てかけ、扉を閉めて、スタートボタンを押すだけである。簡単な操作なので、利用いただきたい。

(3) 館内設備の修繕について（伊藤館長補佐説明）

(4) 図書館協議会での提案事項について（埴岡説明）

◆図書館利用者アンケートの実施について

委員：見えにくい部分が見えるようにするためには手立てが必要である。今回のアンケートと来年、5年後、10年後等、経年変化を見て、利用者ニーズに答えられているのかを評価する必要がある。弱点を見直すことで、より魅力的な図書館になる。

委員：昔から読み継がれている良い本は、閉架書庫に収納されている。この本を開架書庫に出してほしい。目につかなければ、読む機会に恵まれない。テーマを付けたりしてコーナーを設けてほしい。また、アンケートの回答にもあるが、聞かせ読みのために、同じ本を2冊置いてほしい。また、教科書に紹介されている本は、たくさんある方がよいと思う。

委員：閉架書庫と開架書庫、どちらに排架するのか、基準はあるのか。

事務局：新しく入った本は、開架書庫に置きます。古くなってきたり、複数ある本は2冊目以降を開架書庫に移動させる。また、貸出回数が減って、需要がなくなってきたり、汚れてしまった本も閉架書庫に移します。それから、貴重本も閉架書庫で保管しています。

委員：館内のOPAC（蔵書検索システム）が思うように動かない。漢字変換がうまくいかない。

事務局：OPACを使ってもらって、うまく動かない場合は、遠慮なく図書館スタッフに尋ねてほしい。

委員：雑誌スポンサーが減ったように思う。原因は何か。

事務局：スポンサー企業の経営状態や、効果が目に見えないところかもしれない。

委員：スポンサー企業には挨拶に行っているのか。

事務局：6月と3月にスポンサー企業を訪問した。商工会議所に企業を紹介していただき、新規企業を訪問する予定である。

委員：スポンサー企業には、スポンサーになっている雑誌がどれくらいの頻度で来館者に読まれているのか報告されているのか。

事務局：要望があれば答えている。

広告の載っていないバックナンバーの貸出冊数は、統計資料として出てくるが、広告が掲載されている最新刊については、閲覧のみのため、貸出冊数はわからない。

委員：アンケートの意見欄にもあるが、子どもが騒がしくても、図書館スタッフではない利用者はなかなか注意できない。キッズコーナーでおむつ替えをしている人がいた。また、親と子が別々で行動していて、親は携帯電話をいじって、子どもをほったらかしであった。私たち利用者は「せっかく図書館に来たのだから、子どもと一緒に本を読んだら？」と意見はできない。図書館スタッフには、「どんな本を探しているの？」等、声かけをしてほしい。そうすれば気づきがあるかもしれない。

委員：こども未来課において、子育て中の方にアンケートをとったことがある。その中に、「図書館に児童書が少ないと思う。」という意見があった。また、「雨の日に遊ばせるところがない。」という意見があり、図書館でも雨の日ならではのイベント等があればと思う。他にも、「親子で楽しめる。親がリフレッシュできる場所がほしい。」「図書館に来た時に、子どもを預かってくれる場所があれば。」等。

(5) その他

委員：加西市立図書館は蔵書数が多い。一人の作家の作品数が多い。スタッフに質問すると、すぐに答えてくれる。館内のカートが本をたくさん借りるときに便利である。私物を本に挟んで返却したとき、連絡があり、返してもらった等、周囲から聞く。

また、図書館スタッフの顔ぶれが代わっている。1年間にそんなに代わるのか。

事務局：臨時職員が長続きしていない。9人程度代わっている。

新しい人を採用するが、長続きせず辞めてしまう。

委員：3、4年前は、図書館は人気の職種であったが、なぜ、長続きしないのか。

事務局：景気が良いので、売り手市場であることが1つの原因と思われる。賃金も他より少し低い。また、仕事内容が外から見るとより重労働であり、覚えることも多く続かない。平成30年度より、土・日・祝日の加算額もあり、賃金面は少し良くなっているが・・・。

委員：図書館スタッフが定着しないと、イベント等もやりづらく、来館者増が見込めないのではないか。

委員：現在、図書館の人員構成はどうなっているのか。

事務局：正職員4名、常勤臨時職員14名、非常勤臨時職員2名である。

委員：図書館は全日開館だが、交替勤務なのか。

事務局：交替勤務している。

委員：まずは、図書館スタッフの安定を図らないといけない。やめてしまう原因を分析して改善してほしい。

事務局：分析し改善したい。

また、その他の報告事項として「あかちゃんといっしょ」（ブックスタートの紹介本）を1歳半検診の際に、こども未来課から保護者に配布してもらっていたが、「もっと早い段階で配ってあげるのがよいのでは。」との意見があり、市役所の市民課で、出生届出の際に、保護者に配布してもらっている。そして、赤ちゃんに「図書館カード」「読書手帳」作成の案内のチラシも一緒に配っている。

事務局：ボランティア団体「かさい・えほんの森」に毎週土曜日午後2時からおはなし会をしてもらっている。最近参加者が少ないので、加西広報に案内を掲載したり、始まる前に館内で声掛けもしているが、なかなか参加者が増えない。

事務局：午後2時は幼児にとってはお昼寝の時間であるため外出しづらいのでは。時間帯を変更するのはどうか。

委員：おはなし会の開催時間の変更についても検討課題である。市外の方の利用も多く、本の貸出し時におはなし会のチラシを配ってはどうか。

4. 連絡事項

5. 閉会 中安副会長が閉会の挨拶をした。

私は、昨年から小学校で勤務しており、図書室によく行くが、アニメ・学習マンガが置いてある。昔は、「図書室にマンガなんか入れて。」と思っていたが、子ども達が、休み時間に図書室に入ってくると、一番にその本を見に行く。やはり読みやすく、視覚に訴えているし、理解もしやすい。マンガ本は、子どもの読書離れや図書館離れを食い止めるのに役立っていると思う。学校現場も努力しているし、ボランティアも図書館に来てほしいと努力している。それぞれの分野で私たちができることで、加西市立図書館をより良いものにしていきたい。

(16:40終了)